

## 夫の育休取得を望まない主婦は7割以上 主婦の3人に1人以上が「経済的・時間的にもゆとりがない」 一方、主婦の半数以上がアルバイトを希望。正社員で働く選択は「家庭との両立」が鍵に 「主婦のアルバイト調査(2025年)」

株式会社マイナビ(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員:土屋芳明)は、アルバイト就業中の20~50代の既婚女性を対象とした、「主婦のアルバイト調査(2025年)」を発表しました。

### TOPICS

- ◆ 現在アルバイト就業中で、過去に正社員就業経験がある主婦の、「結婚前は正社員」だった割合は7割。結婚が女性キャリアの転機に【図1】
- ◆ 夫の育休取得を望まない主婦は7割以上。未就学児を育てる主婦でも取得希望は4割弱にとどまる【図2】
- ◆ 主婦の3人に1人以上が「経済的にも時間的にもゆとりがない」。子どもの年齢が低いほどゆとりのなさが顕著に【図3】
- ◆ 主婦の半数以上が、今後も「アルバイト・パート」での就業を希望。正社員への選択は、「家庭との両立」や「柔軟な働き方」がポイントに【図4、5】

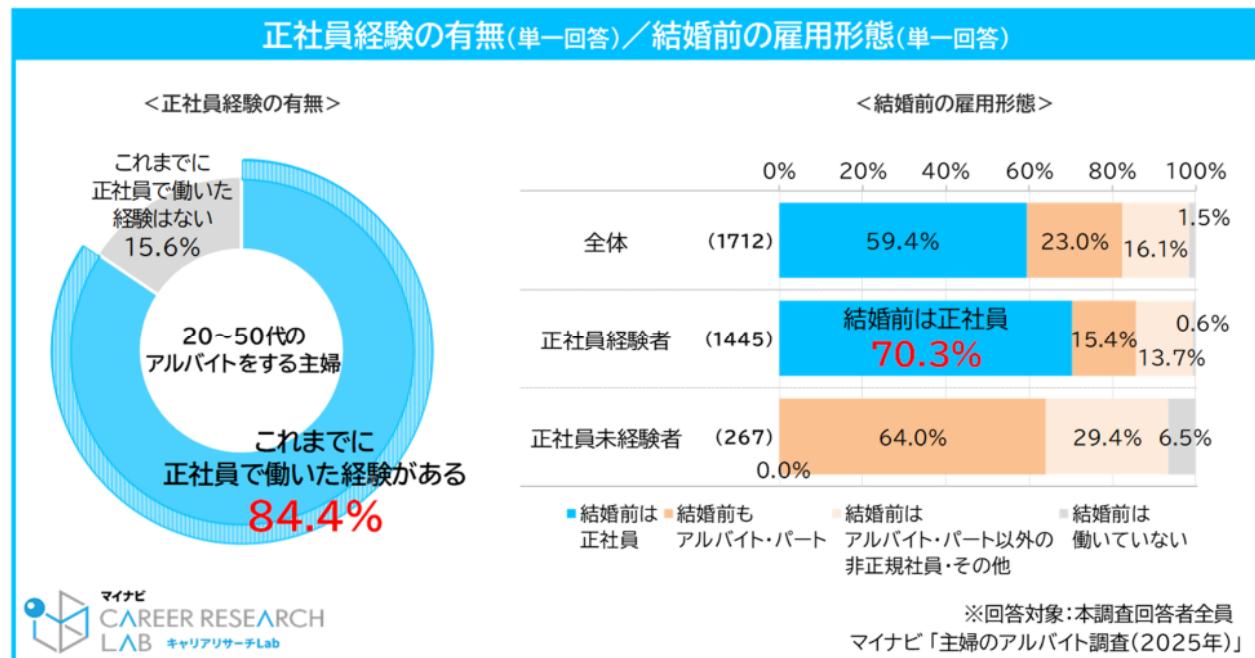
### 【調査概要】

現在アルバイト就業中で、過去に正社員就業経験がある主婦の、「結婚前は正社員」だった割合は7割  
結婚が女性キャリアの転機に

アルバイト就業中の20~50代の主婦に、これまでの正社員就業経験を聞いたところ、経験があると回答した人は84.4%となり8割を超えた。

結婚前の雇用形態については、全体で「結婚前は正社員(59.4%)」が最も多く、次いで「結婚前もアルバイト・パート(23.0%)」、「アルバイト・パート以外の非正規社員・その他(16.1%)」だった。また、「これまでに正社員で働いた経験がある人」に限定すると、「結婚前は正社員(70.3%)」と7割にのぼり、「結婚前もアルバイト・パート(15.4%)」は1割にとどまった。このことから、結婚を機に正社員から別のキャリアに転換した主婦が多くおり、結婚がキャリアの分岐点の1つとなっている実態が示唆される。【図1】

## 【図 1】



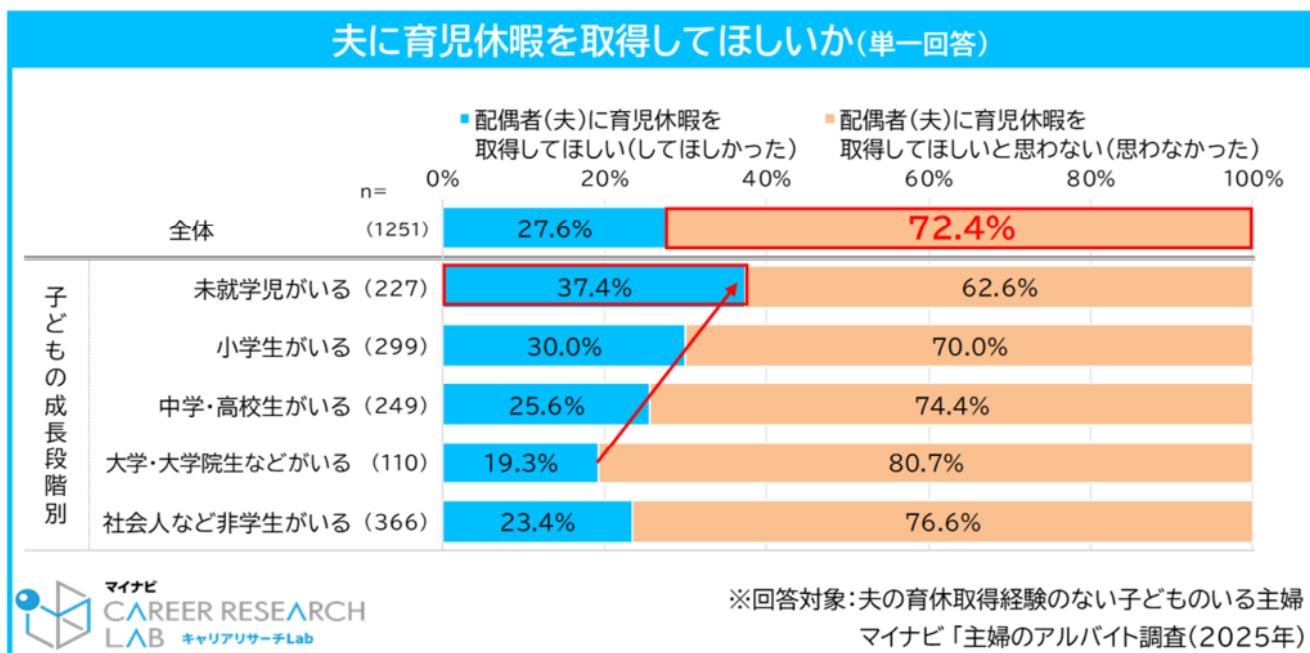
夫の育休取得を望まない主婦は 7 割以上

未就学児を育てる主婦でも取得希望は 4 割弱にとどまる

夫の育休取得経験のない、子どもがいるアルバイト就業中の主婦に夫の育休取得の希望を聞くと、「取得してほしいと思わない(思わなかった)(72.4%)」と、およそ 4 人に 3 人が夫の育休取得を望んでいないことが明らかとなった。

一方で、子どもの成長段階別にみると、夫の育休取得を望むと回答した割合は、「未就学児がいる主婦(37.4%)」が最も高く、次いで「小学生がいる主婦(30.0%)」、「中学生・高校生がいる主婦(25.6%)」となった。【図 2】

## 【図 2】



## 主婦の3人に1人以上が「経済的にも時間的にもゆとりがない」

## 子どもの年齢が低いほどゆとりのなさが顕著に

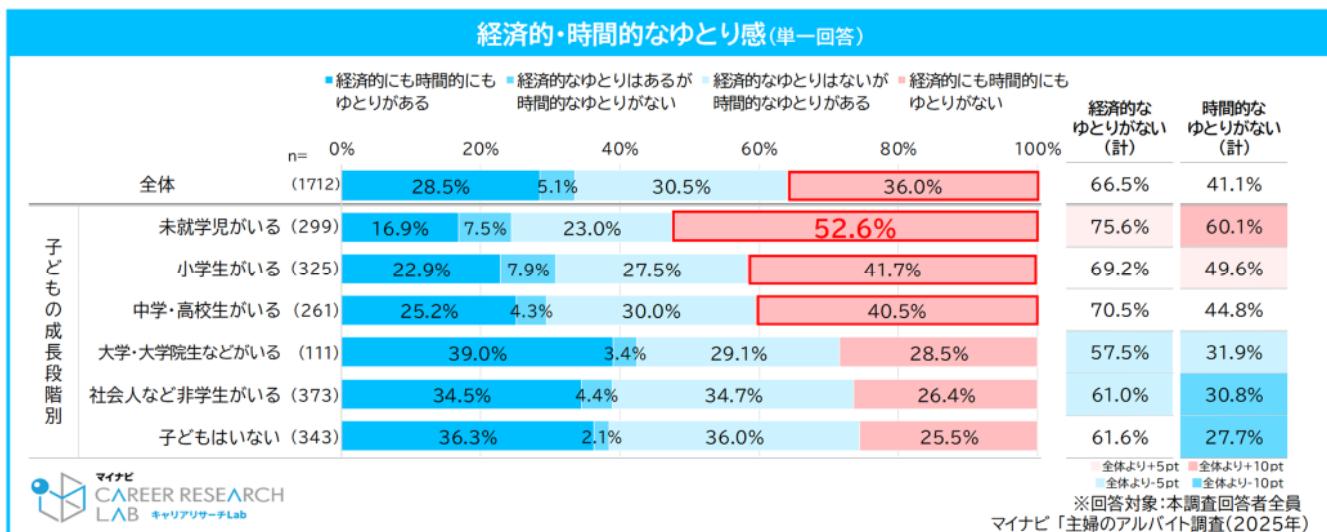
主婦の経済的・時間的なゆとりについて聞いたところ、「経済的にも時間的にもゆとりがない(36.0%)」

割合は3人に1人以上となり、最も高い結果になった。

子どもの成長段階別では、「未就学児がいる(52.6%)」が突出して高く、次いで「小学生がいる(41.7%)」、「中学・高校生がいる(40.5%)」となり、子どもの年齢が低いほど、経済的・時間的なゆとりのなさが顕著に表れている。

一方で、「子供がいない主婦」では「経済的にも時間的にもゆとりがない(25.5%)」にとどまるなど、子どもの有無や子どもの年齢によって、主婦の生活におけるゆとりの感じ方には差が生まれていると推察される。【図3】

【図3】



## 主婦の半数以上が、今後も「アルバイト・パート」での就業を希望

## 正社員への選択は、「家庭との両立」や「柔軟な働き方」がポイントに

アルバイト就業中の主婦が希望する今後の働き方は、「アルバイト・パート(63.3%)」が最多となり、「正社員(18.4%)」を大きく上回った。

今後も「アルバイト・パート」を希望する主婦が「正社員」で実現できないと感じることは、「家事・育児・介護との両立(35.0%)」が最も高く、次いで「休みやすさ(31.6%)」「ストレスの少なさ(30.5%)」と続いた。

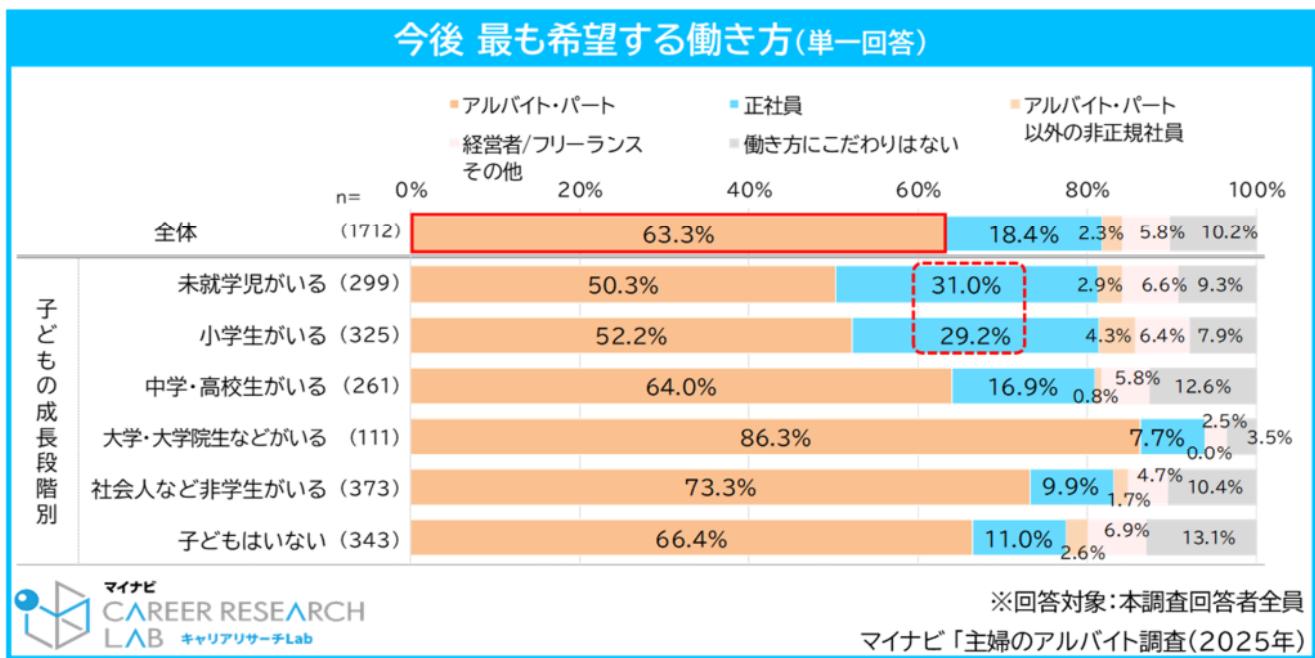
子どもの成長段階別で「家事・育児・介護との両立」を重視している割合を見たところ、「未就学児がいる(58.0%)」、「小学生がいる(48.8%)」は全体より10pt以上高く、家庭との両立や柔軟性のある働き方ができるか否かが、仕事の選択における大きな要因となっていることがうかがえる。

【図4、5】

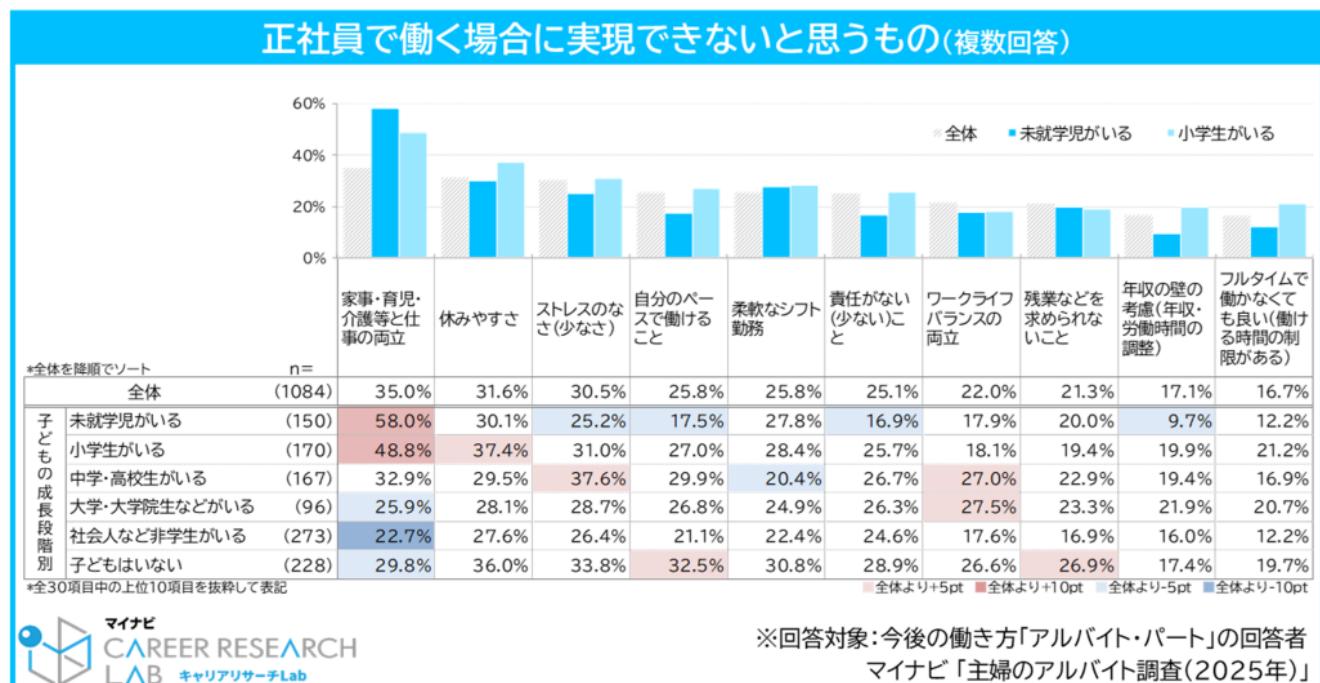
# Press Release



【図 4】



【図 5】



## 【調査担当者コメント】



本調査からは、結婚を機に正社員から別のキャリアに転換した主婦が多く、結婚が女性のキャリアにおける大きな分岐点となっている実態が明らかになりました。一方で、「柔軟な働き方」や「家庭との両立」といった点で、今後もアルバイトを希望する主婦は6割を超えました。

実際に、正社員では実現が難しいと感じる要素として「家事・育児・介護との両立」や「休みやすさ」「ストレスの少なさ」などが挙げられています。

しかし、主婦の3人に1人以上が「経済的にも時間的にもゆとりがない」と感じており、未就学児を育てる主婦ではその割合は過半数に達しています。

こうした状況を踏まえると、主婦の働き方の選択は「自由な選択」というより、「制約の中で折り合いをつけた選択」に近い側面があり、それは夫の育休取得を希望しないという意向にも表れている可能性があります。

家庭と両立できる柔軟で自由な選択の実現に加え、特に子育て期の負担が大きい世帯への支援の在り方が、今後の女性活躍の実効性を左右する重要な論点となるのではないでしょうか。

キャリアリサーチラボ 主任研究員 関根 貴広

### 『主婦のアルバイト調査(2025年)』

- 目的:主婦のアルバイトの実態と意識を明らかにすること
- 調査名:「アルバイト就業者調査(2025年)」より主婦サンプルのみ抽出し作成
- 調査地域:全国
- 調査方法:インターネット調査
- 対象者:アルバイト就業中の20~50代の既婚女性
- 回収数:本調査:1,712サンプル
- 実施期間:2025年2月17日(月)~2月25日(火)

※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります

※調査結果の詳細はこちら

([https://career-research.mynavi.jp/research/20250612\\_96861/](https://career-research.mynavi.jp/research/20250612_96861/))

### 「働く」の明日を考える マイナビキャリアリサーチ Lab

『マイナビキャリアリサーチ Lab(ラボ)』は、雇用や労働に関連する様々な調査データやレポートを通じて、雇用の在り方や個人のキャリアを考える上で役立つ情報を提供するサイトです。

蓄積してきた調査結果、新たに分析した雇用関連のレポート・コラム、市場データといった情報の提供を行い、組織と個人をつなぎ、社会全体でキャリアの在り方を考える一助を担います。